

外国人コミュニティと災い

——コロナ禍の八幡モスク——

京都八幡モスク イスラミックリサーチセンタージャパン

ラムザン・ミルザ

インタビュアー 王 柳 蘭

こんにちは。ラムザン・ミルザです。今日は「外国人コミュニティと災い—コロナ禍の八幡モスク—」についてお話をします。

王 ラムザンさんの発表は動画とパワーポイントでお願いします。

(ビデオのインタビュー内容)

王 今日、本来ならばモスクに行って礼拝の様子を拝見したかったのですが、残念ながら行けませんでしたのでインタビューさせていただきました。ラムザンさんが来日され、京都八幡にモスクを建てられたきっかけはどういうことですか？

ラムザン 日本に来て30年くらい、日本にいる間、毎週金曜日にモスクにいきます。このモスク（神戸モスク）は1935年にできあがり、90年くらいたちました。毎週、通っていました。その間に阪神・淡路大震災がありました。行くのに5時間、帰るのに5時間という時期もありました。三宮がグラグラになってイスラムの信者たちは毎週金曜日、クルアーンに書いてあるように、どんな仕事があっても一度中止して金曜日のお祈りに

行きなさいといわれています。

王 京都の八幡にモスクを建てられたのは？

ラムザン 八幡は京都と大阪の真ん中で、ここにもいっぱい人がいます。遠くて不便だから（神戸モスクに）いけない人たちがいる。ここにモスクがあれば喜ぶだろうなと。僕も時間的に助かります。

王 コロナ禍でどんな影響があったか、ラムザンさんが困ったことは？

ラムザン 一番困ったのはインド人とかバングラデシュの人たちが、去年のコロナ禍で（故郷にもどってから日本に）帰れな



図1 八幡モスク外観

かったことです。今年のラマダーン（断食月）で3人帰っていますが、日本に帰ってこれないので仕事で困っています。モスクの工事も止まっています。

王 モスクを支える人たちが母国に帰ってモスクの運営に影響が出ていると。

ラムザン そうです。工事が止まっています。

王 「マスクをつけてください」とか礼拝にくる人たちに伝える時、どんな伝え方をされていますか？

ラムザン 入り口のところに紙を貼っています。「マスクをつけて入ってください」と。何人か、無視して入る。その場合はドアでチェックして1枚ずつマスクを渡していました。現在は入り口に一人いて体温を計ってマスクの確認をします。消毒もしないと入れない。

王 一列に並んで礼拝されますが、距離のとり方も、ですか？

ラムザン うち広いから男性はだいたい250人礼拝できる。女性は50人。ワンフロアで300人。そのうち男性が50人だったら社会的距離は十分とれています。

王 食事はモスクで人々の交流の場となり、宗教的な意味もありますが、それがなくなった点はどうですか？

ラムザン 今年のはじめはコロナの感染がひどくなってきて。日本でも。だから、食事は中止しました。というのも、食事ではマスクを外すじゃないですか。それがよくないと思って、危ないと思って。ここ（礼拝所）では社会的距離とマスクできちんと守れます。食事のところはなかなか難しい。緊急事態で日本

政府は飲食店に厳しくしている。なので、うちも中止したのです。

王 ありがとうございます。それではラムザンさんのパワーポイントの発表をお願いします。チャットで質問等がありましたらお願いします。

ラムザン コロナ禍の八幡モスクについて話をします。イスラミックリサーチセンタージャパン（IRCJ）は京都府八幡市にあるモスクです。モスクはイスラム教の人たちがお祈りするところです。私が4年前につくりました。私は1965年にバングラデシュで生まれました。1989年、日本に留学にきました。日本語学校で日本語を習いましたが、いろいろあって中退しました。日本語学校をやめたので、一度、バングラデシュに帰国し、アメリカのシアトルへいきました。学生をするつもりでしたが、うまくいきませんでした。そして日本へ戻ったり、カナダ、ブラジル、ヨーロッパなど、いろいろなところに行きました。1992年から日本で日本の車の部品を買って海外に売る仕事を始めました。それからずっと日本にいます。2014年、メガソーラー事業を始めました。そして2017年、IRCJのモスクをつくりました。わたしはモスクが日本に住むイスラム教の人たちの心の拠り所になったらいいなと思います。また八幡の人たちとも仲良くしていきたいと思います。モスクは交差点に面していて、わかりやすい場所にあります。京都と大阪の境にあるので、郊外の人たちにとっても便利です。駐車場もありますので、遠くからくる人たちも便利です。

イスラム教の教義と IRCJ にくる人たちの活動内容について説明します。イスラム教で大事なことは5つあります。1番は信仰告白。「アッラーの他に神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒である」ということ。2番はサラート。サラートは1日5回礼拝を行うこと。3番はザカート。ザカートは貧しい人にお金や必要なものを配ること。4番はラマダーン、およそ一カ月、断食すること。5番はメッカです。余裕があれば一生に一度、イスラム教の聖地であるメッカへ行くことです。モスクにくる人の国籍はいろいろです。活動内容についてですが、モスクではお祈りと食事の提供だけではなく、最近は子どもの日本



図2 コロナ禍における礼拝の様子

語教室もおこなっています。IRCJもコロナ禍の影響を受けました。国へ帰った人たちが日本に戻れなくなりました。現在、IRCJは工事をしていますが、人が少ないので、なかなか工事が進みません。現在はマスクと手指の消毒と検温をきちんと行い、社会的距離を確保してお祈りをしています。お祈りの後、食事を提供します。イスラム教のハラール。イスラム教では豚肉の成分でつくったものは食べてはいけません。ゼリーにも豚肉の成分が入っていますから食べてはいけません。牛や羊など他の動物を殺す時は神様の名前を使って血を抜いて食べます。現在はコロナ禍なので食事は提供していません。

このナーンのようなものはチャパティといいます。チャパティはナンより簡単につくることができ、家庭でよく食べます。このようにたくさんの人が集って食事をします。行政から



図3 礼拝後に提供される食事例（現在はコロナ禍で中止）



図4 ラマダーン中の食事風景（現在はコロナ禍で中止）

も支援を受けています。例えば、コロナの特別定額寄附金の受け方がわからなかったので八幡市の職員がきてくれました。またコロナ禍の前から警察もきてくれています。日本ではあまりありませんが、宗教施設に対して近所の人たちが反対することがよくあります。警察はモスクと地域の共生を見守ってくれています。

最後に IRCJ の今後について話します。これから困った人たちがいたら相談に乗りたいです。今、八幡市では外国人と日本人の共生、子どもの貧困が課題となっています。ですから、わたしは日本語学校や子どもの食堂をつくりたいと思っています。これからもよろしくお祈りします。以上です。

王 ラムザンさん、どうもありがとうございます。ラムザンさんにご質問がありましたらチャットに書いてください。今回、

ご出演を依頼したのは2年前、同志社大学でドキュメンタリー作品¹⁾をつくった時、学生の一グループが八幡モスクを自分たちで探りあててラムザンさんにお目にかかったのが最初のきっかけでした。その後、ラムザンさんのコロナ禍における活動がNHKで取材され、それを知って今回、この企画を考えていたこともあり、ラムザンさんをお呼びすることにしました。日本の中で、これからどういうふうにもスクで活動をしていきたいのかについてはいかがでしょうか。

ラムザン 最近、日本人で信者さんが増えています。今、3人の日本人がいます。その3人はまだ結婚していません。ほとんどの場合、日本人女性と外国人が結婚してイスラム教になったんです。その反対の場合もある。イスラム教の女性と日本人の男性が結婚してイスラム教になるとか。独身の人がイスラム教になるのは少ないんですが、最近、3人の男性が毎週、金曜日にきています。イスラム教のすばらしさを、みんなに教えたい、知らせたいと思っています。それが日本で私たちの一番の目的です。

王 ありがとうございます。チャットに2つの質問がきています。「日本のムスリムの子どもたちは日本の学校へ通学できていますか?」「モスクは誰でも建てることができるのかどうか。ラ

1) 2019年度同志社大学プロジェクト科目『グローバルビレッジを撮る・観る・創る—ドキュメンタリー映画制作を通して見つめる京のムスリムと多文化共生』(王柳蘭・直井里予担当) <http://riporipo.com/doshisha-pbs/> も参照のこと。

ムザンさんのような方がたくさんいるのか」ということです。

ラムザン 日本の学校にもムスリムの人たちが一部にいます。インドネシア、バングラデシュ、マレーシアとか結構、何人かいます。留学生も。ここに住んでいるムスリムの子どもたちや、ここで生まれた子どもたちも最近、どんどん増えています。

王 「学校給食とかハラールに対処しているのかどうか？」という質問についてはどうでしょうか。

ラムザン 小学校で親に話を聞くと豚肉が出る時は、学校と相談して事前に打合せをしている。家から弁当をもっていつている人もいます。

王 ほかにもいろいろ質問をチャットにいただきました。次の議論に使わせていただきたいと思います。ラムザンさん、ありがとうございました。

